



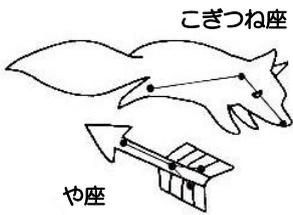
# ジオスペース館だより

## ★ 神話・伝説・風習に登場する身近な動物たち

これまで、ギリシア神話と日本神話の神々を比べてきましたが、神話や伝説、古くからの風習には、神々以外に、たくさんの動物が登場しています。今回は「キツネ」に注目しましょう♪



### こぎつね座(夏) <ギリシア>



「こぎつね座」は、今の時期、深夜になると東の空から昇ってくる夏の星座です。17世紀に天文学者のヘベリウスがまとめた星座の1つで、元々「ガチョウをくわえたキツネ」が描かれていました。しかし、時間が経つにつれ、ガチョウの姿は消えてしまったそうです。4等星以上の明るい星がなく、自立した星の並びもない「こぎつね座」は、たどるのがとても難しい星座ですが、鉄アレイの形をした「あれい状星雲 (M27)」が有名です。夏の目印【夏の三角形】を作る1等星デネブ(はくちょう座)とアルタイル(わし座)のちょうど真ん中あたりに位置していて、すぐ下には特徴のある「や座」もありますので、想像してみてくださいね。「こぎつね座」は新設された星座のため、関連する神話は伝わっていませんが、ギリシア神話の中には、絶対に捕まらない運命を持つ「テウメッサの牝キツネ」が登場します。



### 白狐(びゃっこ) <日本>



豊川でなじみの深い動物といえば「キツネ」ですね。“お稲荷さん”と親しみをこめて呼ばれる「豊川稲荷(妙厳寺)」や「五社稲荷社」などでは、狛犬の代わりに白いキツネ「白狐」の姿が境内のあちこちで見られます。稲荷信仰は、穀物や食物の神への崇拜から生まれ、のちに商売の神様としても信仰されるようになりました。

「白狐」は、“お稲荷さん”の神の使い・従者とされ、全国各地の稲荷で数多く見ることができます。その中の1つ「信太森葛葉稲荷神社(信太森神社)」には、安倍保名と白狐の化身であった「葛の葉姫」の悲しい恋物語が伝わっています。この稲荷の伝承によると、この2人の間に生まれた子どもこそ、平安時代、天体の動きを観察し吉凶を占ったとされる、天文博士「安倍清明」だと言われています。

日本の神話や風習に登場する、神の使いや魔よけの役割を持つ動物たち。ご紹介した以外にも、鹿・牛・兔など様々な動物がいます。神社・お寺にお参りの際には、ぜひ動物たちにも注目してください♪

### ☆☆ 3月のプラネタリウムのご案内 (20(水)～) ☆☆

平日	15:00～	国際宇宙ステーション ISSからの眺め
土日祝	10:30～	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検 3 ～地球のふしぎ～(字幕付)
	13:30～	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検 3 ～地球のふしぎ～
	15:00～※	国際宇宙ステーション ISSからの眺め



※ 17(土)と18(日)の15:00～は「リラクゼーションタイム」です(生解説はショートバージョン)。

<同時投影> 「Northern Light Nights (オーロラに抱かれて)」 「国際宇宙ステーション ISSからの眺め」を上映します。

☆ プラネタリウムの休館日 <3月> 16(金)・19(月)・22(木)・26(月)

豊川市ジオスペース館☆☆